

SeinanVisMoot

公開 実戦練習

—学内者・高校生対象—

Vis Moot は毎年春、ウィーン・香港をメイン会場に、世界各地で開催される 模擬国際仲裁大会です。国際取引上の架空の紛争について、売主・買主側弁護士に扮して、仲裁人の前で**法律**を武器に戦います。出題も弁論もすべて**英語**です。今年は3年ぶりの対面での開催が予定されています。

2月23日の日本大会を前に、今年も**SeinanVisMoot**は、弁護士の先生をゲスト仲裁人にお迎えし、公開実戦練習を行います。今年は、国有企業が当事者となったドローンの売買契約と「汚職」がテーマです。皆様のご参加をお待ちしています。

2023年2月14日 火

15:00~18:00

西南学院大学図書館 1階プレゼンテーションエリア

15:00~15:15 SeinanVisMoot紹介/事案紹介

15:15~16:30 第一試合(日本語)

16:30~17:45 第二試合(英語)

17:45~18:00 講評/SeinanVisMootへの質問受付タイム

■ **学内者・高校生対象** イベントです
事前登録をお願いします

<https://forms.gle/Lw4MZuMmeTm3kQs16>

追って、当日のご案内をお送りします



ゲスト: 紫牟田 洋志 (紫牟田国際法律事務所/日本・ニューヨーク州弁護士)
隈 慧史 (紫牟田国際法律事務所/日本弁護士)
坂本 龍彦 (紫牟田国際法律事務所/日本弁護士)



2022年度SeinanVisMootメンバー



2019年度香港大会 (オンライン)



2018年度ウィーン大会



2019年度日本大会



2021年度 活動風景

VisMoot とは？

Vis Moot は、*The Annual Willem C. Vis International Commercial Arbitration Moot*(模擬国際仲裁大会)の略、全世界の法学部・ロースクール学生のための、国際的に著名な法律弁論大会です。毎春、オーストリア・ウィーン、および香港で開催されており、世界の法曹界において、国際弁護士の登竜門とされています。ケンブリッジ大、ハーバード大、北京大といった著名な大学をはじめ、世界80か国以上から約400校が集まります。

仲裁 とは、裁判所を使わない紛争解決方法です。国際取引紛争が生じた場合、特定の国の裁判所を用いるのではなく、当事者の合意で選んだ、世界各地の仲裁機関を用いることがグローバル・スタンダードとなっています。VisMootでは、架空の国際取引紛争を題材に、参加チームはそれぞれ、仲裁を求める企業と相手方企業の代理人弁護士に扮し、実際の仲裁さながらに争っていくことになります。

英語 が使用言語(日本大会日本語の部を除く)。例年10月、約60ページの証拠等が問題として与えられます。参加者は、国際取引に関連する法律を使って主張を説得的にまとめあげ、30ページ以上に及ぶ準備書面を作成して提出します。大会ではこれをもとに、仲裁人役の前で主張し、仲裁人の質問に応答します。「読み・書き・聴き・話す」という英語四技能が丸ごと鍛えられ、英語そして法律を道具として、グローバルに活躍するためのスキルが育まれる場です。

SeinanVisMoot は2017年に西南学院大学法学部学生により設立された、6年目のチームです。1年次教育で取り入れているディベートを基礎に、国際弁護士の絹川恭久先生(日本・ニューヨーク州・香港弁護士)をコーチに迎え活動しています。

初年度の2017年度に日本大会日本語の部チーム優勝、優秀弁論賞(MVP)受賞を果たし、以降2020年度まで連続 **4連覇** を達成、2020年度はチーム初となる**英語の部入賞(準優勝)** を果たしました。ウィーン大会・香港大会では、これまで、スタンフォード大学、コロンビア大学、オックスフォード大学、中国・廈門大学はじめ、世界各国の大学と戦ってきました。今年も法学部1年生から4年生までの15人が、元気に、チーム一丸となって準備を進めています。

■SeinanVisMootについてはこちらもご参照ください。

[西南学院大学受験生サイト VisMoot特集ページ](#)



@seinanvismoot



@MootVis

SeinanVisMoot とは？